

## 考を以て学を促す

— 現代中国の大学入学試験制度と社会科教育に関する一考察 —

Exams enhance Learning: A study on university entrance examination system  
and social studies education in China

金 美徳\*      巴特尔\*      小林 昭菜\*  
Mitoku KIM      Baatar      Akina KOBAYASHI  
高橋 恭寛\*      ○水盛 涼一\* (○は研究代表者)  
Yasuhiro TAKAHASHI      Ryohichi MIZUMORI

**Keywords** : National Unified Examination for Admissions to General  
Universities and Colleges, Social studies, CPC, Text book,  
Curriculum of history education, Political advertising slogan

### 1. はじめに

中国には隋代（581年～618年）に始まる長い公務員試験「科挙」の歴史がある。あたかもその旧時を幻視するかのよう、2015年に歴史的文化的施設の皇城相府（山西省晋城市陽城県）で「全国高考状元敕封典礼」が開催された<sup>1</sup>。そして康熙帝に扮した係員が山東省や河南省の「高考」最高成績獲得学生を「状元」（旧時の科挙最優秀者を示す雅称）に「敕封」し、賞金を授与したのである。ここで言う中国の「高考」とは、いわば日本のセンター試験にあたる「普通高等学校招生全国统一考試」を指す。こうした統一試験は約5万人が受験した1952年8月に遡り<sup>2</sup>、以降も政治的要因による中断を乗り越え、2020年7月には1071万人が受験する世界最大規模の入学試験へと成長したのであった<sup>3</sup>。なお、全国統一の意義は1940年度の試行趣旨に象徴的である<sup>4</sup>。すなわち、第一に統一試験による基準提示、第二に受験者の肉体的経済的負担軽減、第三に中等教育改善である。とはいえ過去には試験の“害悪”も知られていた。明末清初に生きた顧炎武は「合格答案の出版が盛行して（学問としての）儒教經典や歴史書は廢

\* 多摩大学経営情報学部 School of Management and Information Sciences, Tama University

<sup>1</sup> 李瑜「科学時評 該給“状元游街”亮紅灯了」（『中国科学報』2015年7月30日1面）。ただ張伯晋「高考状元騎馬游街為何令人反感」（『檢察日報』2015年7月27日4面）はこのような封建的儀礼に疑義を呈している。

<sup>2</sup> 1952年4月30日付教育部「關於1952年暑期全国高等学校招生計劃及其實施問題的指示」（楊学為編『高考文獻』上冊、高等教育出版社、2003年7月）。統一試験の動向は大塚豊『中国大学入試研究——変貌する国家の人材選抜』（東信堂、2007年6月）第1章に詳しい。

<sup>3</sup> 晋浩天「千万考生今日奔赴高考考場」（『光明日報』2020年7月7日1面）。

<sup>4</sup> 1949年製作の教育部教育年鑑編纂委員会『第二次中国教育年鑑』（『近代中国史料叢刊』第3編第11輯、文海出版社、1986年6月に採録）第5編「高等教育」第1章「概述」第4節「二十九年度」の「統一招生目的」による。

れた」と指摘する<sup>5</sup>。現代においても純粋学問と受験産業との乖離は往々にして問題となる。ただし同じ明朝でも、陽明の学徒が科挙の試験官へ就任し、試験問題および模範解答を通して学派の興隆を企図している<sup>6</sup>。受験生は試験に出るからこそ学習するものである。この行動は試験制度の要点を衝いたものといえよう。そこで本稿では共同研究の成果に基づき主に歴史教育の分野から大学試験と教科書の内容について中国教育政策の一端を示していく。

## 2. 高考とその問題文——総合的作題の同時代性

中国の「中等学校」とは初級中学（日本の中学校にあたる）および高級中学（おなじく高校にあたる）を指す。また「高等学校」は高等教育を行う学校を称し、四年制大学や専科学校を指す。そこで中国では、「中学生」が全国統一の「高校」入学試験を受験する事となる。ただし、歴史的な紆余曲折があり、現在は「全国統一」の名を冠しながらも完全なる全国統一試験ではない<sup>7</sup>。具体的な試験制度は教育部考試中心が担当するが、その考試中心が作成する問題には「新課程標準全国卷」の第1巻・第2巻・第3巻、また「新高考」の第1巻・第2巻がある。そして試験問題は各省の教育庁や直轄市の教育局（旧名は教育委員会、なお党の組織として別に教育工作委員会が存在）が選択し、その地域内で統一実施する。2020年度実施分をとっても、全国1巻は河北・河南・山西・江西・湖北・湖南・広東・安徽・福建が、全国2巻は甘肅・青海・内モンゴ・黒龍江・吉林・遼寧・寧夏・新疆・陝西・重慶が、全国3巻は雲南・広西・貴州・四川・西藏が、新高考1巻は山東が、新高考2巻は海南が採用している。また、北京市、天津市、上海市、江蘇省、浙江省では、教育庁に直属する教育考試院が問題作成を担当している。

ここで学生はその地方が採用した試験問題を受験する。そのため前節で登場した「状元」も地方ごとに存在するのである。なお大学は地域ごとの合格者の配分人数を決定して「録取分数線」（合格最低ライン）を設定するため、同じ大学を希望しても受験地域によって難易度が異なるという悲喜劇も生じる<sup>8</sup>。また、以前より試験は選択問題と記述式問題で構成されており、答案の採点は機械に任せることなく大学や高校の教員さらには大学院生が担当してきた<sup>9</sup>。た

<sup>5</sup> 顧炎武は自著『日知録』巻16「十八房」で「八股盛而六經微、十八房興而廿一史廢」（ここで言う十八房とは会試の試験場で、転じて合格答案集「房稿」を指す）と、また同巻16「擬題」では「故愚以為、八股之害等於焚書、而敗壞人材有甚於咸陽之郊所坑者但四百六十餘人也」と述べる。

<sup>6</sup> 三浦秀一「王門歐陽徳の学問とその会試程文」（『哲学資源としての中国思想——吉田公平教授退休記念論集』研文出版、2013年3月）、同「明朝の提学官王宗沐の思想活動と王門の高弟たち」（『日本中国学会報』第66集、2014年10月。それぞれ『科挙と性理学——明代思想史新探』研文出版、2016年2月、第6章と第7章として収録）。

<sup>7</sup> 小川佳万・小野寺香・石井佳奈子「中国の大学入試における募集人員の地域配分に関する省別比較」（『広島大学大学院教育学研究科紀要』第3部「教育人間科学関連領域」第68号、2019年12月）などを参照。

<sup>8</sup> 2020年度の事例でも、沈蒙和「683高分考生為何會“落榜”——浙江高考録取進程過半、這位學生的選擇、你贊同嗎？」（『錢江晚報』2020年8月28日12面）のように浙江省最高得点の学生であっても北京大学希望学部で不合格点となった。こうした「不平等」について、たとえば耿焰「走出違憲審查的困惑——對三名考生狀告教育部一案的思考」（『中国律師』2001年第12期）、沈鴻敏「高等教育昇學機會地區間不平等的現狀及其成因分析」（『清華大學教育研究』2007年第3期）、盧菲菲「高考録取中的區域公平問題探析」（『學園——學者的精神家園』2011年第4期）、楊江華「我國高等教育入學機會的區域差異及其變遷」（『高等教育研究』2014年第12期）、嚴冬「高等教育中平等受教育權的大眾認識與反思」（『西南政法大學學報』2018年第4期）、唐海龍「從入學機會看高等教育公平——高校招生政策的視角」（『南寧師範大學學報（哲學社會科學版）』2019年第6期）など実に多くの論文が研究対象としている。また、受験生にとっても死活問題であるため、受験案内として全国各省市招生辦『高考録取分數線分析』（西藏人民出版社、2016年12月）といった書籍も登場している。

たとえば北京では20万におよぶ答案に千名以上が十日以上をかけて採点を行っている<sup>10</sup>。

さて、およそ新高考や北京独自試験などにおいて、学生は語文（日本での国語）・英語・数学のほか、理系3科目（生物・物理・化学）あるいは文系3科目（地理・歴史・政治）の6科目を受験する。それに対して、最も採用数の多い全国巻による試験では、語文、英語、理系あるいは文系数学、理科総合あるいは文科総合の4科目を受験する。このうち理科総合とは、もとは科目として分かれていた生物・物理・化学を総合した科目である。同じく文科総合とは地理・歴史・政治の総合科目にあたる。ただし新高考や独自試験と異なり全国巻の総合科目は分野ごとの小問と分野横断の総合的記述式問題で構成される。たとえば2020年7月8日実施の全国1巻「文科総合」<sup>11</sup>は35の「選択題」（四択問題）と11の「非選択題」（記述式）で構成される。そして選択題のうち第1問から第11問が地理、第12問から第23問が政治、第24問から第35問が歴史に配当され、合計で140点となる。試みに冒頭の第24問を挙げよう。なお導入文には「小問ごとの4種の選択肢に1種だけ問題の要求に適合するものがあります」との注記がある。

『史記』〔卷四十「楚世家第十」武王三十五年〕の記載によれば、春秋時代に楚国の君主の熊通は爵位の上昇を要求したが、周の桓王に拒絶された。熊通は怒り、周辺地域がみな楚国に帰服していると称して「王が爵位を昇進させないのならば、われ自ら尊くなるのみである」として「そして自立し（楚の）武王となった」という。これは当時の周王朝において【 】状態であったことを表明している。

- A. 礼学制度はもはや存在しない      B. 王位の世襲制度が消滅した  
C. 宗族の制度の解体が始まった      D. 封建体制が挑戦を受けた

この解答はDであり、正解すれば4点を獲得できる。以下設問要旨を列挙すれば、第25問は唐の閻立本による「歩輦図」と国際関係、第26問は北宋の占城米奨励、第27問は清代の族譜編纂盛行の理由、第28問は西学東漸と宣教師、第29問は1929年度量衡法前夜の状況、第30問は解放前夜の党と資本家の関係、第31問は改革開放のもと1983年に倒産危機から立ち直った安徽省繁昌製薬廠の事績について、自国史を問う内容である。また第32問は古代アテナイの民衆裁判所、第33問はモンテニュー思想における理想の人間、第34問は産業革命下の19世紀パリの様相、第35問は1992年署名の北米自由貿易協定について、世界史を問う内容である。

また、これ以降は合計160点の記述式問題であり、第36問から第42問が「必考題」（必答問題）、第43問から第47問が「選考題」（選答問題）となる。第36問では葡萄栽培から見た地理的特徴、第37問では玄武岩による地形形成、第38問では2013年以降のGDPや第2回中国国際輸入博覧会出品物からみた消費変化、第39問では党支部委員会・村民委員会・村民代表会議・村務監督委員会による「四会管村」、第40問では新型コロナウイルス感染症（COVID-19）、第41問では1950年代以来の中独関係、第42問では時代の特徴と歴史家の歴史認識を問う。そして続く選答問題は「地理2問と歴史3問から科目ごとに1問を選び解答」と説明した後、地理より「選修3 旅行地理」（宮廷に源流を持つ北京景泰藍いわゆる七宝焼と文化体験）および「選修6 環境保護」（高原鼠兔クチグロナキウサギの食害）が、また歴史より「選修1 歴史上の重大

<sup>9</sup> 李明「高考閱卷——我參加過的另一場“高考”」（上海解放日報系『上觀新聞』2020年7月9日、<https://www.jfdaily.com/news/detail?id=267793>）、また杜璋「浙江高考滿分作文和閱卷組長的角色」（『中国新聞週刊』2020年第33期、総963期、2020年9月7日）。

<sup>10</sup> 方怡君「北京高考語文作文已經出現滿分試卷」（『新京報』2019年6月15日7面）。

<sup>11</sup> 『五年高考三年模擬 高考文綜』（教育科学出版社・首都師範大学出版社、2020年7月）。

な改革の回顧」(清末光緒新政の商業振興策と関連法規について)、「選修3 二十世紀の戦争と平和」(パリ講話会議におけるトルコ領中東の分割と委任統治について)、そして「選修4 中国や外国の歴史人物の評論」(西魏宇文泰に仕えた蘇綽と彼の六条詔書について)が問われている。

過去には「単向灌輸知識」<sup>12</sup>(一方的な知識伝達)や「死記硬背」<sup>13</sup>(機械的な詰め込み知識)が強く批判されており、これら記述式の問題文には学生の柔軟な思考能力を試す創意が見て取れる。必答問題から試みに第42問を挙げてみよう。

材料を読み、問題の要求を完成しなさい。

【材料】宋代史に関する国内外の学者の著作は数多く、叙述の重点はそれぞれに異なる。たとえば〔Dieter Kuhn によるハーバード中国史の〕『儒家の統治する時代』、〔小島毅による講談社中国史の〕『中国思想と宗教の奔流』、〔游彪による中信出版『新編中国史』の〕『文治の隆盛と武功の退潮』といった書名には著者の時代認識が反映している。

学習した知識により中国史の一時期について時代の特徴を反映し得た書名を考え、また具体的な史実を応用し論証しなさい(論証充分、史実正確、論旨明瞭であること)。(12点)このような問題への解答には臨機応変な対応が必要である。しかも、直近の現代すらも作題対象から除外されない。主に「政治」知識によるべき第40問をとりあげよう。

材料を読み、問題の要求を完成しなさい。

【材料】新型コロナウイルス感染症の流行への対応の過程で、国家衛生健康委員会は専門家を組織して医療救助活動について分析・検討判断・総括を不断に行い、相次いで7版におよぶ新型コロナウイルス肺炎の診療プランを制訂・修訂そして発布し、人民の生命・健康をまもるために重要な保障を提供したのである。第1版のプランは比較的簡単なもので、主に病因論や病例の特徴、病例の定義、鑑別診断、病例発見時の報告法、治療といった方面の内容であった。そして第3版のプランでは中国医学による治療などの内容を詳細化している。さらに〔2020年3月3日に発布された〕第7版のプランでは〔肺臓以外の脳組織などに対する〕病理変化の内容を増やし、臨床での症状、診断基準、治療方法や退院基準などを増補調整し、また無症状感染者の持つ感染性、治療患者による回復期血漿療法といった新発見を盛り込み、13種の方面を包括する比較的完成した診療体系を形成したのである。

中国医学は中国人民が数千年の生活実践から作り上げたもので、中華文明の至宝であり、新型コロナウイルス感染症の流行へ対応するなかで独特な価値や魅力をみせた。中国医学と西洋医学を結合し、漢方薬と西洋薬とを併用し、「未病を治す」〔発病以前の養生による健康状態維持〕や「辯証施治」〔望診・聞診・問診・脈診の四診から症状病因を究明し治療を行う〕そして「多靶点干預」〔多方面への作用〕といった中国医学独自の長所を発揮し、流行の予防と管理に対し全面的かつ深く参与した。そして診療過程をカバーする中国医学診療の規範や技術のプランを形成し、全国で使用を推進したからこそ、発病率・重症化率・死亡率を有効に低減し、回復期患者の治療を早めたのである。しかも

<sup>12</sup> 劉振英・劉思揚・尹鴻祝・楊振武「江沢民在全国教育工作會議上發表重要講話強調 国運興衰係於教育 教育振興全民有責」(『人民日報』1999年6月16日1面)。なお江沢民はここで「学生と群衆の愛国主義・集体主義・社会主义思想を不断に増強する事こそが素質教育の核心」と強調する。

<sup>13</sup> 2017年1月13日付、教育部部長陳宝生「辦好中国特色社会主義教育 以優異成績迎接党的十九大勝利召開——2017年全国教育工作會議工作報告」(『人民教育』2017年Z1期)。

中国医学はさらに国境を越えて世界の流行対応に助力している。中国側の専門家はオンラインやオフラインで日本・韓国・イタリア・カンボジアといった国家の専門家と治療経験を分かち合い、さらに新型コロナウイルス肺炎での中国医学による診療プランを英訳して国家衛生健康委員会のサイトで世界各国に共有したのである。

(1) 診療プランの変化が新型コロナウイルス肺炎に対する認識の発展を反映したことについて、〔辯証唯物主義における〕認識論の原理を応用して分析を加えなさい。(12点)

(2) この問題に加えて文化生活の知識を応用し、中国医学文化の高揚による〔2016年7月1日の慶祝中国共産党成立95周年大会などで総書記が触れる〕「中国文化への自信」の強化に対する作用を説明しなさい。(10点)

(3) 中国医学が「健康中国」の建設で発揮しうる作用を2種提議しなさい。(4点)

ここで問われるのは新型コロナウイルス感染症であり、中国医学であり、国民意識の高揚である。このうち試験当時に現在進行形であった感染症は当然ながら教科書に掲載があるはずもないものの、文化の概況や国民意識については人民教育出版社の教科書『思想政治』第3巻「必修：文化生活」(2018年4月第6版)第2単元「文化の伝承と創造」第4課「文化の継承性と文化の発展」や第3単元「中華文化と民族精神」第7課「私たちの民族精神」を参照できる。しかも中国医学については人民教育出版社教科書でいえば『歴史必修』第3巻(2007年1月第3版)第3単元第8課こそが詳細である。試験は出題範囲なしに実施し得ない。2020年実施分こそ公布がなかったものの<sup>14</sup>、2019年以前には教育部が「普通高等学校招生全国統一考試大綱」を發布し出題範囲の概要を示している<sup>15</sup>。そしてまさにその内容は当然ながら現行教科書と合致するものなのである。そこで以下に教科書や教育行政との関連性を確認していこう。

### 3. 教科書と高考との関係性——学問奨励と範囲外問題

1983年10月、鄧小平は「十年内乱の消極的な結果」に対処するための思想教育強化を打ち出し、また「教育は近代化や世界そして未来に向き合うべきである」と主張した<sup>16</sup>。実際、1984年10月20日に経済改革方針が成立すると、程なく教育改革方針が練られ始めた。その背景には、広範かつ多様な中国全土に対する画一的な教育の困難性、陳腐化していた教材、高等教育のみが優越した基礎教育や職業教育への軽視といった問題があったという<sup>17</sup>。当時の中国では教育部直属の人民教育出版社が独占的に共通教科書を製作販売していた。そこで1985年1月11日、いわゆる検定制度を導入し、以降は国家の定めた内容に沿って作成し「審定」

<sup>14</sup> 秦健「重慶考生要注意啥 名師來支招」(『重慶晨報』2019年12月28日3面)、また河北日報系「河北新聞網」2019年11月12日付「河北省教育考試院官方發布——2020年普通高考大綱參考2019年且不再修訂」([http://hebei.hebnews.cn/2019-11/12/content\\_7522712.htm](http://hebei.hebnews.cn/2019-11/12/content_7522712.htm))。

<sup>15</sup> 教育部考試中心『2019年普通高等学校招生全国統一考試大綱的說明(文科)』(高等教育出版社、2018年11月)。なお科目ごとに教育部考試中心『高考試題分析(文科綜合分冊)2020年版』(高等教育出版社、2020年1月)のような書籍が刊行され題例や趣旨を説明している。

<sup>16</sup> 「党在組織戰線和思想戰線上的迫切任務(一九八三年十月十二日)」(『鄧小平文選』第3巻、人民出版社、1993年11月)、また「為景山學校題詞(一九八三年十月一日)」(同上)。

<sup>17</sup> 当時において中央書記処書記を勤めていた胡啓立による回想(「『中共中央關於教育体制改革的決定』出台前後」『炎黄春秋』2008年第12期)。なお1985年5月27日通過「中共中央關於教育体制改革的決定」には「必須極大地提高全党對教育工作的認識、面向現代化・面向世界・面向未來」と、さきの鄧小平の言葉が踏まえられている。

に合格すれば採用候補に加えられることとなった<sup>18</sup>。この「審定」は地域の教材審定委員会および中央の全国教材審定委員会が段階的に実施する。こうして「審定」に合格した教科書は各地の教材選用委員会で採用決定し<sup>19</sup>、学校の現場で使用される運びとなる。また補助教材（副読本）である「教輔材料」も中小学教輔材料評議委員会が審査を行い、中央へ報告する<sup>20</sup>。

なお、教科書編纂者は「教学大綱」（日本の教育指導要領にあたる）や関連法規を遵守するが、このうち「大綱」が「課程標準」へと移行した<sup>21</sup>。高級中学の歴史科目でいえば、「大綱」が2002年まで改訂されたのち、新たな「課程」が2003年に登場し、2017年に修訂された<sup>22</sup>。そして当然ながら同時期に新教科書が編纂・審定されたのである。なお、旧「大綱」では高級中学の歴史科目として中国の近現代史が必修であり、中国古代史と世界近現代史が選修とされ、旧「大綱」下で必修の人民教育出版社『中国近代現代史』（人民教育出版社、2003年6月）では第1冊が鴉片戦争から第一次国共合作まで、また第2冊が蒋介石北伐から香港返還までを扱った。それに対し、2003年「課程」は古代を含めた中国史全体を必修とした。これは党史から愛国への重点の転換によるものであろうか。そこで人民教育出版社『歴史必修』（2004年1月）では古代より現代までを扱い、テーマ別に第1冊は政治史、第2冊は経済、第3冊は文化を配当する。また選修の内容も大きく変わり、第1冊は「歴史上の重大な改革の回顧」、第2冊は「近代社会の民主思想と実践」、第3冊は「二十世紀の戦争と平和」、第4冊は「中国や外国の歴史人物の評論」、第5冊は「歴史の神秘を探る」、第6冊は「世界文化遺産集成」となった。ここでは自国と世界を総合しており、例えば第1冊でソロン・商鞅・北魏孝文帝・王安石・宗教改革・ムハンマドアリー・ロシア農奴解放・明治維新・戊戌変法を、第4冊で始皇帝・唐太宗・康熙帝・孔子・プラトン・アリストテレス・クロムウェル・ワシントン・ナポレオン・孫文・ガンディー・ケマルアタテュルク・マルクス・エンゲルス・レーニン・毛沢東・鄧小平・李時珍・詹天佑（鉄道之父）・李四光（地質学者）・ニュートン・アインシュタインを取り上げる。

しかも教科書は人民教育出版社の専売ではない。高級中学歴史教科書で比較的に流通量の多いものだけでも人民出版社版と嶽麓書社版が存在する。専門的かつ先進的な内容の加筆、学習意欲向上を促す改訂を考えれば、競争原理の導入も当然であろう。こうして教科書は「一綱多

<sup>18</sup> 「国家教委關於頒發『全国中小学教材審定委員会工作章程』的通知」（『課程・教材・教法』1988年第1期）、国家教育委員会『中華人民共和國現行教育法規彙編（1949-1989）』（人民教育出版社、1991年4月）。また「中小学教材編寫審定管理暫行辦法」（『教育部政報』2001年Z2期）、2019年12月16日付「教育部關於印發『中小学教材管理辦法』『職業院校教材管理辦法』和『普通高等學校教材管理辦法』的通知（教材〔2019〕3号）」（教育部公式サイト、[http://www.gov.cn/zhengce/zhengceku/2020-01/07/content\\_5467235.htm](http://www.gov.cn/zhengce/zhengceku/2020-01/07/content_5467235.htm)）。

<sup>19</sup> たとえば2020年7月2日付「北京市教育委員會關於印發2020年秋季北京市中小學教學用書目錄的通知」附件「2020年秋季北京市普通高中課程改革實驗教材目錄」（[http://jw.beijing.gov.cn/xxgk/zxxxgk/202007/t20200702\\_1937435.html](http://jw.beijing.gov.cn/xxgk/zxxxgk/202007/t20200702_1937435.html)）。や2020年7月24日付蘇州市教育局基礎教育處「2020年蘇州市高中數學教學用書選用結果公示」（<http://jyj.suzhou.gov.cn/szjyj/gsgg/202007/63e49abe34874e0295ec94c31ef90e31.shtml>）。

<sup>20</sup> 「新聞出版總署・教育部關於印發『中小學教輔材料管理辦法』的通知」（『教育部政報』2001年Z2期）、新聞出版广电總局・教育部・發展改革委關於印發『中小學教輔材料管理辦法』的通知」（『中華人民共和國國務院公報』2016年第2期）。なお江蘇省では一教科につき「一教一輔」（教科書一種と補助教材一種）による学習を求めている（談潔「我省新高一秋季將用新教材」『南京日報』2020年8月5日8面）。

<sup>21</sup> 「中小學教學大綱為何改成課程標準？」（『中國教育報』2001年10月24日）。

<sup>22</sup> 教育部『全日制普通高級中學歷史教學大綱』（人民教育出版社、2002年4月）、教育部『普通高中歷史課程標準（實驗）』（人民教育出版社、2003年3月）、教育部『普通高中歷史課程標準（2017年版）』（人民教育出版社、2018年1月）。なお、それぞれの変化について朱漢国「淺議普通高中歷史課程體系的新變化」（『歷史教學』2003年第10期）、同「普通高中歷史課程標準的修訂及主要變化」（『歷史教學（中學版）』2018年第2期）がある。

本」(大綱一種と教科書多種)となった。この間に蘇智良主編『高級中学課本歴史』(上海教育出版社、2003年8月)が議論を呼ぶと<sup>23</sup>、各社はみな穏当な表現へと改訂を行っている。しかし当局はなお「審定」のみで直接に起稿しない。ここで再思すべきなのが試験制度である。

前節では高考「文科綜合」試験について紹介した。この試験科目は1999年7月ごろに一部の地方で試行し<sup>24</sup>、2001年には全国的な実施へと発展したものである<sup>25</sup>。ただし、高校の教育科目に「文科綜合」は存在せず、学生はあくまで政治・地理・歴史の各教科の学習を通し多様な教科書により「文科綜合」に対応する知識を獲得していく事となる。前節でも触れた「考試大綱」はおよそ「課程標準」と連動するもので、選択記述問題を示す「選考4」には先に紹介した人民教育出版社『歴史選修』第4冊「中国や外国の歴史人物の評論」とほぼ同じ人名を示す。

ただし、実際の高考では少なくとも過去5年のあいだ選修1・3・4が主に出题され、2015年のみ選修2が加わるものの、選修5・6からの出题は無い。なお出題は例えば2019年の選修1が秦の二十等爵と三国魏の五等爵、選修4が劉源張(中国質量管理の父)、2018年の選修1が宮崎市定『中国史』を引用しての漢武帝の建元の意義、選修4がワシントンの中立政策とルーズベルトの善隣外交、2017年の選修1が改革開放以降の賃金制度、選修4が呉王寿夢の子の季札とその外交活動、2016年の選修1が六朝貴族制度と唐太宗の『貞観氏族志』編纂、選修4が唐の高仙芝の出世と功罪、2015年の選修1が開元通宝と唐の幣制改革、選修4が長春真人丘処機のチンギスハーンとの会見の意義を問うている。これらはみな選修教科書に特集されたものではないため、受験生は学習の更なる深化を求められる。逆に出题されない選修5・6への学習意欲は減退するであろう。教科書が「一綱多本」であるのと異なり、高考は「一綱一本」であるからこそ受験生への最終的な学習範囲指定を行いうるのである。しかも2017年の考試大綱では新たに「試験では唯物史観の指導のもと科学的思考と学科の方法を応用し問題を発見・分析・解決する能力を重視する」という文言が加わった。実際、近年になって生産関係や上部構造、社会構造論や存在と認識といった出題が増加している<sup>26</sup>。

#### 4. おわりに

以上、大学入学試験と教科書について確認してきた。ただし、教育行政はさらに変容している。改革開放以来、全国教育工作会议が1985年5月、1994年6月、1999年6月、2010年7月、2019年1月と開催されてきた<sup>27</sup>。最新の会議では課程教材への総書記新時代特色社会主義思想の有機的な融入が提起され、青年への愛国・勵志・求真・力行教育が確認されている。それと相前後する2016年10月に中央は「大中小学教材建設に関する意見」を發出し、「イデオロギー

<sup>23</sup> 王雪萍「グローバル化と中国の歴史教育の変容——内政と外交の狭間に揺れる教育改革」(加茂具樹編著『中国の対外行動の源泉』慶應義塾大学出版会、2017年3月、第9章)。

<sup>24</sup> 1999年2月13日付教育部「關於進一步深化普通高等学校招生考試制度改革的意見」(教学[1999]3号)(『教育部政報』1999年第3期)、「教育部辦公廳關於印發『落實全教会精神、深化高考改革座談會紀要』的通知」(『中華人民共和國教育部公報』1999年第22期)、1999年8月2日付教育部辦公廳「關於廣東省2000年高考試行“綜合科目考試”的通知」(教考試[1999]1号)など。

<sup>25</sup> 2001年1月15日付「教育部關於做好2001年普通高等学校招生工作的通知」(『教育部政報』2001年第4期)。

<sup>26</sup> 姚曉嵐「高考歷史試題對唯物史觀素養的考查及教學對策」(『教學月刊(中學版)』2020年第4期)。

<sup>27</sup> 2019年1月18日付、教育部部長陳寶生「落實 落實 再落實——在2019年全国教育工作会议上的講話」(『人民教育』2019年21期)。

性のやや強い教材や国家主権や安全保障、民族や宗教といった内容の教材は、国家による統一編纂、統一審査、統一採用を実行」するとした<sup>28</sup>。総書記も同年12月には「教材体系の建設、教材の教授内容や指導価値は国家意思の体现であり国家の権利である」と強調する<sup>29</sup>。そこで国務院副総理を主任とする国家教材委員会が成立、また2019年12月には同様の文言を持つ教材管理辦法が發布され<sup>30</sup>、思想政治・歴史・語文（国語）に関して教科書を1種のみとする「一綱一本」体制への回帰が決定した。実際に製作された教科書はこれら諸決定を踏まえたものであるという<sup>31</sup>。なお更なる管理強化のため、2019年11月には「新時代愛国主義教育実施綱要」が<sup>32</sup>、また2020年1月には「全国大中小学教材建設規劃」が發出された<sup>33</sup>。その記者会見で教育部教材局（国家教材委員会辦公室を兼ねる）の責任者はこのように述べる。

●記者：〔2019年9月から各地で陸續導入予定の高等中学の思想政治・語文・歴史〕三教科の教材を統一編纂する基本原則とはどのようなものでしょうか。

●責任者：まず第一に、正確な方向を堅持するということです。総書記が〔2018年9月10日の全国教育大会で〕提言した教材製作の「一個堅持五個体现」を遵守し、課程標準に依拠し、新時代中国特色社会主義思想を十分に体现し、社会主義革新價值觀を全面融入し、中華の優秀な传统文化や革命文化そして社会主義先進文化を高揚して、学生に一個の中国精神そして満々たる中国愛を持たせ、徳・智・体・美・労働が全面發展した社会主義の建設者および後継者を作ります。すでに総書記は「教育とは国の大計であり、また党の大計である」と述べる<sup>34</sup>。『中国教育報』の投稿に見える「新型コロナウイルス感染症という大きな試練のなか、愛国主義精神はまたも“高得点の試験答案”を作成することができた」との所感は<sup>35</sup>、その成就しつつある新体制の成果を表すのかもしれない。

なお本稿は多摩大学2019年度共同研究費「アジア・ダイナミズムの中の対立と宥和——東アジア各国の最新の世界史教科書における近代史叙述比較から」による研究成果である。また本稿は研究代表の執筆にかかるものである。

<sup>28</sup> 陳亮「内容・機制・課程標準——如何編好学校思政課教材？」（光明日報系『中華讀書報』2019年12月18日6面）、李麗萍「統編教材後統服務如何跟進？」（『中国出版伝媒商報』2017年9月1日1面）。

<sup>29</sup> 国家教材委員会委員の王湛「落實国家事權的重大戰略举措」（『中国教育報』2017年7月14日7面）。

<sup>30</sup> 陳鵬「国家首次出台教材建設整体規劃、劍指教材管理“細”“鬆”“弱”“缺位”——大中小全學段教材“凡編必審”“凡選必審”」（『光明日報』2020年1月9日9面）。

<sup>31</sup> 褚清源「普通高中三科統編教材突破了什麼」（『中国教師報』2019年9月4日1面）、「編好三科教材 培育時代新人——教育部教材局負責人就普通高中三科教材統編工作答記者問」（教育部公式サイト、2019年8月27日、[http://www.moe.gov.cn/jyb\\_xwfb/s271/201908/t20190827\\_395984.html](http://www.moe.gov.cn/jyb_xwfb/s271/201908/t20190827_395984.html)）。また王家源・林煥新「全面落實教材建設国家事權——訪国家教材委員会辦公室和教育部教材局負責人」（『中国教育報』2020年1月8日1面）、「建立健全教材管理制度 提昇教材建設科学化規範化水平——教育部教材局負責人就教材管理辦法答記者問」（教育部公式サイト、2020年1月7日、[http://www.moe.gov.cn/jyb\\_xwfb/s271/202001/t20200107\\_414565.html](http://www.moe.gov.cn/jyb_xwfb/s271/202001/t20200107_414565.html)）。

<sup>32</sup> 「培養愛国之情 砥礪強国之志 实践報国之行——中共中央国務院印發『新時代愛国主義教育實施綱要』」（『中国教育報』2019年11月13日1面）。

<sup>33</sup> 林煥新・王家源「我国首次系統規劃教材建設——到2022年教材管理体制基本健全・体系基本完備・質量顯著提昇」（『中国教育報』2020年1月8日1面）、また「全面落實教材建設国家事權 系統描繪大中小学教材建設藍圖——国家教材委員会辦公室負責人就『全国大中小学教材建設規劃（2019-2022年）』答記者問」（教育部公式サイト、2020年1月7日、[http://www.moe.gov.cn/jyb\\_xwfb/s271/202001/t20200107\\_414566.html](http://www.moe.gov.cn/jyb_xwfb/s271/202001/t20200107_414566.html)）。

<sup>34</sup> 新華社電「総書記在全国教育大会上強調——堅持中国特色社会主義教育發展道路 培養德智体美勞全面發展的社会主義建設者和接班人」（教育部系『中国教師報』2018年9月12日1面）。

<sup>35</sup> 李争婕「辯証把握新時代愛国主義教育新内涵」（『中国教育報』2020年8月24日3面）。